

等しく感ずることであつて、これを除去されたのは問題は小だが特筆すべきことと思ふ。

この世界的大作を部分的に亘つて、批評することは、容易なことでないで、たゞ概活的の紹介に止めて置くが、日本の部だけに就て披見するに第九版に於て既に *Baichin* が地方別として、府縣所在と府縣名と同一なる名稱のものは、*Underline* を以て兼稱せしめ、相違してゐるものには

*Kanasawa* のやうな註記のし方をして區別するなごして相當に豊富な地名を入れることに留意して居るが、世組版に於てシユライフェルやフラウデが舊區劃たる國名を使用したのはさういふ理かと思はれる。また、千島列島の *Kunien oder Tschil-Is.* のやうな、遠州灘の *Totomi Bucht* 伊勢海の

*Owari B. Jatusschiro Mere* のやうな何とほなしにそぐはないもの多々あることは、云はゞ寧ろ日本の現在の状態を如實に語つてゐるのではないかと思はれる。それは最も地理學的な、そして最も現在に即した、今日の文明を語るに足るだけの歐文日本地圖を以て、我が國が世界に紹介されてゐない證左とも見らるのである。然しまたさういつた、まごまつたもののない中でこれだけの全圖を纏めたことも偉ごしなければなるまいと思ふ。(木崎龍尾)

雜報

○江戸川に發掘された象

七月三日千葉縣市川町に於

て江戸川の新しき橋の工事中左岸より二番目の橋臺下三十尺より象の齒、骨片等拾數箇を掘り出した。此あたり沖積層の砂、粘土で其下に洪積世の泥土層がありカキヤ漂木が含まれてゐた。象は此層の上部にあつたのである。市川町は沖積世になつてしばらく海であつたらしく左岸堤防下の最上部層は黄色砂で現今上總あたりの東京灣に棲む貝類とほゞ同じ種類が夥しくある。今日江戸川の川口より船橋千葉への海岸はかなり淡水の混入が多い所に好み棲む貝類が見られる。して見る以前は江戸川は此處に流れ注いでゐなかつたのではあるまいか。また貝と共に石器時代の土器がた事と市川以北の臺地に貝塚の多い事と併せ考へて此貝層は石器時代の海の沈積と思はれる。東京下町の最上部貝層なごと同じくきわめて近く陸地に化した。有史後江戸川は利根川の本流であつた事があつたが其發達はあまり古くはないと考へられる。象は遠州佐濱に出たナツメム象 (*Elephas Namadicus Naumanni* *Makiyama*) に同定し得るが少しく異なる點がある。出た材料は上の左眞白齒第二番と下の白齒不完全標本二箇其他十數箇の破損した骨片で中には他獸のものと混じてゐる。最も完全なるのは左上第二白齒一箇で長さ二十裡に十四枚の齒葉と前後一づつのマロンがある。高さは前より七枚目の齒葉にて二十裡幅

は同じく三枚目にて六・五種、最後部の齒葉の下底にて七種あり、十種にある齒葉数は七、珞那質は佐濱のナウマン象ほど厚くはない。齒葉の前後面は縦に條があり磨面では珞那質の小さい縮みとなつて見える。以上の寸法と形態より判断すれば此處の象は佐濱象よりもトロゴンテリイ象に近接したナウマン象であると思はれる。幅はトロゴンテリイ象よりもせまいが齒葉数はナルバダ象やナウマン象(佐濱のもの)始祖象(歐洲のナルバダ象)などより多くて長さとの比率は一三・三となり歐洲のトロゴンテリイ象に一致する。下臼齒は不完全であるがアフリカ象に見られる中央の菱形突出が発達しある事は横須賀及び佐濱のナウマン象と甚近似してゐる。此象を見て私はナウマン象はナルバダ象(Elphas namadicus)の變種とするよりも獨立の一種となし得るを考へる。なほ標本は千葉縣より東京帝國大學理學部地質學教室に寄附せらるる事になつたので後でゆつくりと調べさしてもらふ機會もあらう故其時に詳しく報告するつもりである。此象は最よく歐洲の *Elephas antiquus trogontheroides* に其進化の程度に於て似てゐる。しかし地質時代が一致することは考へるを得ない。ただ佐濱よりも新しい洪積世の或時期を示すものであると思ふ。此發掘地よりほゞ近く國府臺には赤土層に被はれて武藏野系上部の黄色砂の地層が出てゐる。此は松崎階(成田層)で其時代が鮮新世なるか洪積世なるかに就て學者の説が一致しないものである、が象を含んだカキのある粘土層との關係は不明である、成田附近では松崎階の下に黒田氏と私が實見

した *Erudana frequens* (Yokoyama) なる淡水貝を含む粘土層があり其下に一段と古い海成層があるが或は此粘土層の延長が市川では半淡水で象を出したのであるまいか。田端で出た象もナウマン象で王子介層と此より新しい松崎階に似た貝類を有する層との間より出た。ただ田端のは乳齒であつて佐濱型に近いが市川型に近いが不明である。横須賀の洪積層より出たナウマン象は佐濱と同一型で洪積世下部と考へられてゐる。(横山)

### ○和歌山縣海草郡大崎村の地盤隆起

大崎村大字丁に幣使限と云ふ丘陵角がある。口碑によれば往古此の附近一帯は海であつたと云ふ。現今此の邊の低地は海拔四・五米の田畑となつて居るが貝殻が附近から多数發掘されると云ふ土地の隆起を物語る幣使限丘上に一碑あり、記して曰ふ。

#### 幣使限碑

邨人傳言始 少彥名神降於硯補、後人建祠而祀焉、其他舊以海所圍、潮瀾人不能養、後因遷於今之地粟島神社是也、神功皇后征韓之役所禱祭云、嘗勅使之來也風雨激浪不得涉海、奉幣於丘上而望祭、以故名其地曰幣使限、今所謂遙拜岡是也云々

大正十有三年八月 多紀仁謹撰

又同村字名の丁、方、鯨等は共に往古の水邊に近接したのを物語るものである。(和歌山縣氣象月報第十年五號に據る)  
○海洋の重力測定 海洋中の孤島では重力が規定値よりも強過ぎるといふ事實と地殻均衡説の主張を明らかにする目

的の爲に海洋の上で重力を測定する事が地學的興味を起すに到つたが、ヘツカアは遂に水銀柱氣壓計と沸騰點寒度計とを併用して海洋の上で重力を測定する事を考察し、一九〇一年には大西洋に於て、一九〇四年には地中海、紅海、印度洋及び太平洋に於て、更に一九〇九年には黒海に於て海上に於ける重力の値を測定した。併しながら其精密度は陸上に於ける重力測定に及ばざるものである如き感があつた。然るに近年に至つてオランダのマイネス氏は潛航艇が海面より十メートル餘りの深さに潛入すると著しく動搖を減ずる事を利用して其中に於て振子を用ひ重力を測定する事を考察して、一九二三年に自國より地中海、紅海を経て印度洋の北部を東にスマトラ島に至るまでの海上の重力を測定する事に成功した。本誌第三卷四九五頁參照最近著のネエチユア誌第一一七卷本年六月五日號七八六頁には更に其後の計劃が報道されて居る。即ちオランダ海軍大臣は測地學委員會の請に應じて潛航艇K十三號をマイネス氏の使用に提供し、大西洋を横斷しパナマ運河を経て太平洋に出でジャバ島に至る航海を斷行するに決した由である。北米合衆國の西岸に近い太平洋海底の測深は先年來行はれて來た所であるが、マイネス氏は此近海に於て特に淺海より深海に至る海洋面の重力の變化を注意して測定する計劃の如くである。又グアム島に達する前には特にネロ深海(九六三六メートル)を横ぎり、又マニラに到る前には從來最も深い所として知られて居たマニラ深海(九七八八メートル)を横ぎり、それよりバング海を経てスラバヤに航

行する豫定になつて居る。ヘツカアの航路中ではトングガ海溝を縱斷して居て、其近邊での重力分布は地殼の等壓的調節の極限に關する有力なる材料の一つとせられるが、觀測値が僅かに數個であるので聊か不安の感もあつた。マイネス氏の航海が完了した曉には、前記各海深の近傍に於ける重力の分布は此點に關し一層確實な證據を提供する事と豫期せられる。此全航程は三萬二千メートルに及び、本年五月二十六日にヘルテルを出發して、八月初旬にはカリフォルニア近海に在り、十二月十日に最終點なるジャバ島のスラバヤに達する豫定となつて居る。(松山)

### ○第三紀に於ける地磁氣

磁性を保持して居る物質を高温度に熱すれば其初めの磁性を失ふが、之を靜かに放置して冷却させると地磁氣の感應を受けて其場所に於ける磁場の方向に磁性を受ける。従つて史前人種の殘した陶器の磁性の方向を測つて其時代の地磁氣の伏角を推定する事も既に試みられて居る所であるが、岩石の内でも磁性の比較的強い玄武岩の如きものでは之を利用して其噴出時代の地磁氣の方向を知る材料とする事が出来る筈である。スイス國ロオザンヌ大學のメルカントン教授は此點に關し注意すべき結果を佛國學士院に於て發表して居る。(Comp. Rend. 183 (1926) 859 & 1231) 氏は初めグリーンランドの西岸ナヌコ島ゴッドハアメンの第三紀玄武岩四個を得て其磁性を檢査したが、何れも相等の磁性を保持して居て其方向は南極が下方に向ひ五十五度の伏角を示した。現今の地磁氣は該地に於ては北極が下方に

向ひ非常に大きい伏角を示して居るから、此玄武岩が若し今日噴出したものならば正に此磁場の感態による磁性を受け北極が下方に向つて居るべき筈であつて、メルカントン教授の實驗した玄武岩が之と反對の方向の磁性を示して居るのは其噴出時に於ける地磁氣が現今の磁場と著しく相違して居た事を示すものとせねばならぬ。茲に於て氏は更に南半球に於ける事實をも確める爲めに材料をオウストラリヤに求めた。先づ東南クインスランドから得た五個の玄武岩を検査したが、其内三個は稍や不明瞭であつたが残りの内一個は弱いながら明らかに南極が上面にある事を示し、又オプザアペエシヨンのヘルから採取した玄武岩は強い磁性を有し明らかに南極が上面にある事を示した。又新南ウエールズの南方炭田地方のキアマ・ウカロンゴンの二疊石炭紀の玄武岩五個を検査した結果は、其内四個は磁性が明らかでなかつたがオメガがより採集した緻密なる玄武岩は明らかに上面に南極下面に北極を有して居た。之等の事實より考へると二疊石炭紀乃至第三紀に於てはオウストラリヤ地方の地磁氣は南極を上にし北極を下にして居た筈であつて現代の磁場と反對である。之をグリーンランドの玄武岩の示す結果と併せ考ふれば、地球の磁場全體がそれ等の地質年代に於て現代と著しく異なつたものであつたのではないかと思はせる。勿論之等の検査に用ひた岩石が噴出した當時から著しい變位を受けて居ないといふ事を假容してある。(松山)

○朝鮮鑛業令中の鑛物の増加 五月十九日朝鮮鑛業

雜報

令が改正されて鑛業令を適用される鑛物が増加された、それは鑛石、明礬石、重晶石及螢石である。是に於て朝鮮鑛業令による鑛物は内地で鑛業法を適用される鑛物よりも多いことが雲母、石綿、高嶺土、螢石、明礬石、重晶石及螢石の七種となつた、因に云ふ砂鑛としては内地にない珪砂がある。

○地理科本試験問題 (第四十四回) 大正十五年七月

一 沖繩島の人文地理を述べよ

約百萬分一の縮尺を以て描きたる同島の地圖を添ふべし

二 マライ列島の地圖を描き之によりて其の地形と構造との特色を説明せよ

三 太平洋東半における海流を圖示し其の大陸に及ぼす氣候上の影響を説明せよ

四 フランスの中央高臺につきて述べよ

五 天津、上海、香港の三港につきて其の貿易の特徴を駁論せよ

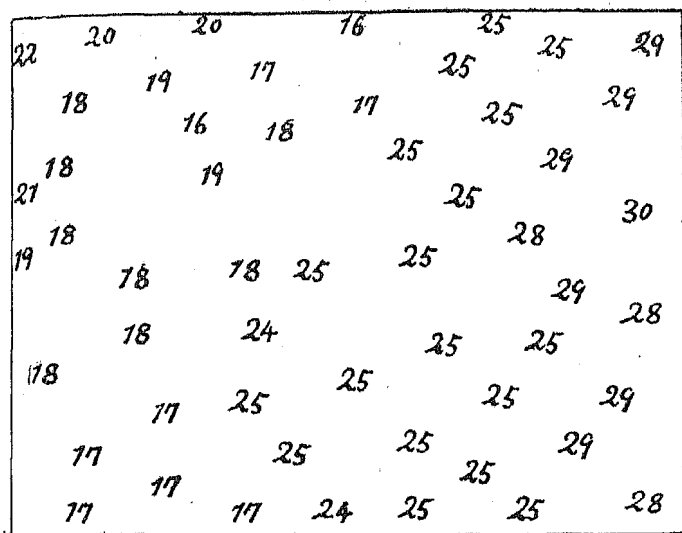
六 別紙において與へられたる海圖に等深線を記入すべし

七 左の諸項につきて知る所を記せ

- (イ) 廬山
- (ロ) ラハス (Lagos)
- (ハ) ロカルノ (Locarno)
- (ニ) リガ (Riga)
- (ホ) ワラキヤ (Wallachia)

別紙

此の海圖に於て海底地形の著しく變化せる地點に同深線を引  
け(見本として其一部分を左に掲載す、學團員の方々は本圖  
上に於て同深線を引く練習に供せらるべし)



◎大正十四年本邦對外貿易

我が貿易史上一新記録を作つたもので既往の最高額である大  
正九年のそれに比して五、九〇〇〇萬圓の増加である。左に  
其大要を示せば(單位千圓)

内地 輸出品價 二、三〇五、五七

計 四、八七、二四〇

臺灣 輸出品價 四七、六五

計 一〇四、四八

朝鮮 輸出品價 二四、四〇

計 二九、七二

全國 總輸出品價 三、七〇、八五二

計 五、一三、四二五

○輸出品別價額(内地)

食料品 一四七、三二五

原料品 一六三、〇二五

原料用製品 一、〇六、九〇四

全製品 九〇、三三三

計 二、三〇、五八七

○輸入品別價額(内地)

食料品 三五二、〇二三

原料品 一、四九、七四五

原料用製品 三三、三六六

全製品 三九、五〇〇

計 二、五七、二六三

輸入品價 二、七三、六三三

輸入超過 二七、〇六六

輸入品價 五、四八三

輸入超過 八、五二八

輸入品價 一〇五、三六七

輸入超過 八、〇四七

總輸入品價 二、七三、六三三

輸入超過通計 三、六、六三一

全體ニ對スル歩合 六%

八%

四七%

三九%

二五%

五%

三%

二四%

△國別貿易類比較 (單位千圓)

輸 出	輸 入	輸 出	輸 入
支那 五七〇,一〇三	三九一,二五五	香港 七五,六四四	四六六
印度 二七五,四三三	五七五,六四四	海植 四四,九〇五	七〇,〇〇四
蘭印 五八,五七五	一〇三,七五七	佛印 四,〇〇六	四,七〇〇
露亞 三,一三三	二四,六七八	比島 二九,三〇六	一六,七〇〇
暹羅 七,八〇〇	三三,七五七	英國 五七,七六六	三三,七〇三
佛國 六,八五五	三三,七〇七	獨國 二,八四四	三三,八一九
白國 一,八六八	二,九〇〇	伊國 八,三三三	三,三三八
瑞西 三,五五五	三〇,七五五	奧國 四,四七	二,八六六
チエロ 五	二,三〇〇	蘭國 二,六二七	五,二二六
瑞典 三,五五五	三,〇六六	諾威 一〇	三,五五五
露國 五,六	三,九一	波蘭 一,八五五	五,七
四國 九〇〇	八,九一	丁抹 八,五	六,〇〇〇
土國 三,八一一	八,三三	葡國 一三	二,六七
米國 一,〇〇六,三三三	六,四九二	カナガ 三〇,八六六	三,三三三
墨國 一,一七一	八	玖馬 一,〇八一	二,六六六
秘露 一,六〇〇	七,七	智利 一,九三三	五,四四四
アルヘ 八,四四四	二,〇五五	伯西 一,五五五	六,六
埃及 二,五三三	三,三三三	南阿 九,五五五	一,三三三
深洲 四,四四四	一,四四四	新四蘭 三,一〇〇	一,五
布哇 八,〇七〇	三	其他 二,四八八	一八,三三九
通計 二,三〇五,五七五	二,五七三,六三三		

(各國にて千圓以下は四捨五入せしため合計と符合せない)

雜 報

○大正十四年十月一日の國勢調査の結果に據る  
日本内地の人口(一)

道府縣總計	五,七三,八三三	大崎町	四,四六六
東京府	四,四八,一四四	目黒町	四,六六八
東京市	一,九五,五七七	世田谷町	三六,〇〇八
麴町區	五,三三九	駒澤町	二〇,九九二
神田區	二八,五五九	入新井町	三,五五五
日本橋區	一〇,〇三三	大井町	八,六六九
京橋區	三〇,三三三	大森町	三,一〇四
芝區	一七,五九〇	蒲田町	二五,六六六
麻布區	八七,六六六	羽田町	一七,三三〇
赤坂區	六,〇五五	各村合計	一〇,七七八
四谷區	七,九四四	豊多摩郡	四,五五五
牛込區	二九,八八七	中野町	六,九九三
小石川區	一五,六〇〇	野方町	二,三三三
本郷區	一,三三三	杉並町	三,六六六
下谷區	一,三三三	大久保町	三,四四四
淺草區	三三,〇七六	戸塚町	二九,二五五
本所區	三,七一四	落合町	三,四四四
深川區	一,六六六	淀橋町	五,三三三
八王子市	四,二八八	代々幡町	五,七五五
荏原郡	五,五五五	手馴ヶ谷町	五,九九九
品川町	五,六六六	澁谷町	九,〇三三

一四 六九

地球

各村合計	二九,七五三
北豊島郡	六四,八四三
板橋町	三〇,八六一
東鴨町	四〇,一四八
瀧野川町	八三,三五三
日暮里町	五九,九六六
三河島町	五九,三五二
南千住町	五四,七五五
尾久町	四七,四四三
王子町	六〇,〇八六
岩淵町	二四,五三三
高田町	四一,一四七
西巢鴨町	六六,九五〇
各村合計	六四,四四五
南足立郡	八九,三三六
千住町	五三,一〇一
各村合計	三三,七二五
南葛飾郡	三四七,四四四
小松川町	二四,一三三
金町	七,六九九
新宿町	三,三三八
吾嬬町	五,九三三
隅田町	二,二九〇
帝島町	三九,二五〇

第六卷

龜戸町	五,三三三
大島町	三三,四四〇
砂町	二〇,三四六
各村合計	六八,五五三
西多摩郡	四九,九三三
青梅町	九,五三三
五日市町	四八,九〇〇
各村合計	六九,四四〇
南多摩郡	八三,三二八
日野町	五,三六七
町田町	五,六七三
各村合計	七,三五六
北多摩郡	二九,八六六
府中町	七,八三〇
立川町	八,三三三
田無町	三,四四三
調布町	五,七四三
各村合計	一四,〇四三
大島	八,五五三
八丈島	九,二二七
小笠原島	五,七八〇
京都府	一,四〇六,三三三
京都市	六七九,九三三
上京區	三三三,五〇六

第二號

下京區	三三六,四四三
愛宕郡	三,三三三
葛野郡	四,三三三
嵯峨町	七,四三三
各村合計	三三,六三三
乙訓郡	三,二〇〇
向日町	五,一八八
各村合計	一七,九三三
紀伊郡	七,四三三
伏見町	三〇,四四三
深草町	三,三三三
各村合計	三三,五五三
宇治郡	二四,七六六
久世郡	二四,三三三
宇治町	五,六三三
淀町	二,〇三三
各村合計	一六,三三三
綴喜郡	三三,〇三三
八幡町	七,五三三
田邊町	三,三三三
各村合計	一六,三三三
相樂郡	四,三三三
水津町	六,四三三
各村合計	三三,〇三三

七〇

南桑田郡	四,六三三
龜岡町	六,八三三
各村合計	三三,六三三
北桑田郡	二九,八三三
船井郡	五,四三三
關部町	三,四三三
八木町	一,八三三
須知町	二,七三三
各村合計	四,四三三
天田郡	六,九三三
福知山町	三〇,九三三
各村合計	四,六三三
何鹿郡	四,八三三
綾部町	二,八三三
各村合計	三三,一三三
加佐郡	八,五三三
河守町	二,三三三
舞鶴町	二,一三三
中舞鶴町	三,九三三
新舞鶴町	一,四三三
各村合計	四,三三三
與謝郡	五,八三三
宮津町	一三,一三三
加悦町	四,一三三

岩瀧町	四,二二	東成區	三,三三
各村合計	三,四四	住吉區	一四,〇七
中 郡	三,九四	西成區	三,七三
峯山町	四,五五	堺 市	一四,〇〇
各村合計	一八,三六	岸和田市	三,〇〇
竹野郡	三,〇一	三島郡	九,六五
網野町	五,八三	高槻町	四,五六
間人町	三,一五	茨木町	七,〇八
各村合計	三,六四	吹田町	一,六六
熊野郡	一,五五	各村合計	六,〇三
久美濱町	二,〇六	豊能郡	七,八四
各村合計	四,六一	池田町	三,四六
大阪府	三,〇五	各村合計	三,五五
大阪府	二,二八	泉北郡	五,〇三
北 區	三〇,七六	鳳 町	三,六三
此花區	一五,五三	濱寺町	一,五五
東 區	一三,一一	高石町	八,五四
西 區	一〇,一六	大津町	九,七八
港 區	二六,六六	各村合計	三,三一
天王寺區	一三,四三	泉南郡	一五,〇六
南 區	一三,〇六	貝塚町	六,四三
浪速區	一四,八〇	佐野町	一四,〇六
西淀川區	一四,三一	各村合計	三,八三
東淀川區	一四,八三	南河内郡	一八,〇〇

質 疑 應 答

富田林町	四,五五	小坂町	六,六八
長野町	四,三二	布施町	二,四九
古市町	三,六六	各村合計	一八,六六
柏原町	五,八〇	北河内郡	五,八五
各村合計	一〇,三三	枚方町	五,四三
中河内郡	一四,一四	守口町	五,三〇
八尾町	六,四一	各村合計	八,四一

質 疑 應 答

問 湖沼に關する歐文參考書を擧げて下さい。(著溥生)  
 答 湖沼學として纏まつたものをAとし、一局部の調査研究  
 究報告又はある一國に關したものをBとして次に掲げる。  
 (文庫生)

- A. 1) Forel, F. A.—Handbuch der Seenkunde: Allgemeine Linnologie. Stuttgart, 1901.
- 2) Aufsess, O.—Die physikalischen Eigenschaften der Seen. Die Wissenschaft. Heft 4. Braunschweig, 1905.
- 3) Magrini, G. P.—Linnologia. Studio scientifico dei laghi. Milano, 1907.
- 4) Halbins, W.—Der gegenwärtige Stand der Seenforschung. I. Topographie, Hydrographie, Geologie der aussereuropäischen Seen. II. To-